



R コマンド

この章では、R で始まる Cisco NX-OS Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) コマンドについて説明します。

redistribute (EIGRP)

1 つのルーティング ドメインからのルートを Enhanced IGRP (EIGRP) に注入するには、**redistribute** コマンドを使用します。コンフィギュレーション ファイルから **redistribute** コマンドを削除し、ルートの再配布をしないデフォルトの状態にシステムを戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
redistribute {bgp as-number | direct | eigrp id | ospf instance-tag | rip instance-tag | static}
[route-map map-name]
```

```
no redistribute {bgp as-number | direct | eigrp as-number | ospf instance-tag | rip
instance-tag | static}
```

構文の説明

bgp <i>as-number</i>	ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) からのルートを配布します。 <i>as-number</i> は、2 バイトまたは 4 バイトの自律システム番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。
direct	インターフェイス上の直接接続されているルートを配布します。
eigrp <i>id</i>	EIGRP インスタンスの名前を指定します。 <i>id</i> には、大文字と小文字が区別される最大 20 文字の任意の英数字文字列を指定できます。
ospf <i>instance-tag</i>	OSPF プロトコルからのルートを配布します。このプロトコルは IPv4 アドレス ファミリでサポートされています。 <i>instance-tag</i> には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
rip <i>instance-tag</i>	RIP プロトコルからのルートを配布します。 <i>instance-tag</i> には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
static	IP スタティック ルートを再配布します。
route-map <i>map-name</i>	(任意) 設定したルート マップの識別情報を指定します。ルート マップを使用して、EIGRP に再配布するルートをフィルタリングします。

コマンド デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード
 ルータ コンフィギュレーション モード
 ルータ VRF コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

他のルーティング プロトコルからのルートを EIGRP にインポートするには、**redistribute** コマンドを使用します。これらのルートのフィルタリングには必ずルート マップを使用して、意図した再配布のルートのみ EIGRP から再配布されるようにしてください。

他のプロトコルからのルートを EIGRP に再配布するには、デフォルト メトリックを設定する必要があります。デフォルト メトリックは、**default-metric** コマンドを使用して設定するか、**redistribute** コマンドで設定したルート マップを使用して設定できます。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、BGP ルートを EIGRP 自律システムに再配布する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router) address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# redistribute bgp 64496
switch(config-router-af)
```

関連コマンド

コマンド	説明
default-metric (EIGRP)	EIGRP に再配布されるルートのデフォルト メトリックを設定します。
show ip eigrp	EIGRP 情報を表示します。

redistribute maximum-prefix (EIGRP)

EIGRP に再配布されるルート数を制限するには、**redistribute maximum-prefix** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
redistribute maximum-prefix max [threshold] [warning-only | withdraw [num-retries timeout]]
```

```
no redistribute maximum-prefix max [threshold] [warning-only | withdraw [num-retries timeout]]
```

構文の説明

<i>max</i>	EIGRP が配布するプレフィックスの最大数。指定できる範囲は 0 ~ 65536 です。
<i>threshold</i>	(任意) 警告メッセージをトリガーする最大プレフィックス数のパーセンテージ。範囲は 1 ~ 100 です。デフォルトは 75% です。
warning-only	(任意) プレフィックスの最大数を超えた場合に警告メッセージを記録します。
withdraw	(任意) 再配布されたすべてのルートを取り消します。
<i>num-retries</i>	(任意) EIGRP が再配布されたルートの取得を試みる回数。範囲は 1 ~ 12 です。デフォルトは 1 です。
<i>timeout</i>	(任意) 再試行のインターバル。値の範囲は 60 ~ 600 秒です。デフォルト値は 300 です。

コマンド デフォルト

制限なし

コマンド モード

ルータ コンフィギュレーション モード
VRF コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

redistribute maximum-prefix コマンドは、EIGRP に再配布されるルート数を制限するために使用します。**clear ip eigrp redistribute** コマンドは、すべてのルートが取り消された場合に使用します。

例

次に、EIGRP に再配布されるルート数を制限する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# router eigrp 201
switch(config-router)# address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# redistribute bgp route-map FilterExternalBGP
switch(config-router-af)# redistribute maximum-prefix 1000 75
switch(config-router-af)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
<code>feature eigrp</code>	EIGRP 機能をイネーブルにします。
<code>redistribute (EIGRP)</code>	EIGRP のルート再配布を設定します。
<code>show running-config eigrp</code>	EIGRP の実行コンフィギュレーションを表示します。

restart eigrp (EIGRP)

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) インスタンスを再起動し、関連付けられたすべてのネイバーを削除するには、**restart** コマンドを使用します。

restart eigrp *instance-tag*

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP ルーティング インスタンスの名前。この名前には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
---------------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、OSPFv2 インスタンスを再起動し、すべてのネイバーを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# restart eigrp Test1
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
show ip eigrp interfaces	EIGRP インターフェイスに関する情報を表示します。

router eigrp

Enhanced IGRP (EIGRP) のルーティング プロセスを設定し、ルータ コンフィギュレーション モードを開始するには、**router eigrp** コマンドを使用します。EIGRP ルーティング プロセスをオフにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
router eigrp instance-tag
```

```
no router eigrp instance-tag
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	EIGRP インスタンスの名前。 <i>instance-tag</i> には最大 20 文字の英数字文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。
---------------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP のルーティング プロセスを設定する例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
default-information	デフォルト ルートの配布を制御します。
default-metric	EIGRP に再配布されるルートのデフォルト メトリックを設定します。
distance	アドミニストレーティブ ディスタンスを設定します。
maximum-paths	等コスト パスの最大数を設定します。
redistribute	EIGRP のルート再配布を設定します。
router-id	ルータ ID を設定します。
timers	EIGRP タイマーを設定します。

router-id (EIGRP)

Enhanced IGRP (EIGRP) プロセスのルータ ID を設定するには、**router-id** コマンドを使用します。デフォルトの方法でルータ ID を決定するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

router-id *router-id*

no router-id

構文の説明

<i>router-id</i>	4 分割のドット付き 10 進表記で指定した 32 ビット ルータ ID
------------------	--------------------------------------

コマンド デフォルト

このコマンドが設定されていない場合、EIGRP はルータのいずれかのインターフェイスの IPv4 アドレスをルータ ID として選択します。

コマンド モード

アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード
 ルータ コンフィギュレーション モード
 ルータ VRF コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

router-id コマンドは、ルータ ID の一意の 32 ビット数値を指定するために使用します。この処理によって、インターフェイス アドレスの設定に関係なく、EIGRP が機能することが保証されます。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP プロセス 1 に 192.0.2.1 の IP アドレスを割り当てる例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router) address-family ipv4
switch(config-router-af) # router-id 192.0.2.1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip eigrp	EIGRP プロセスの要約を表示します。